

### 家賃上昇下の居住支援 アカデコミカルの街



本田宏徳  
(公明党)

①転居を余儀なくされた単身高齢者のように、住まい探しに不安を抱える方が不動産会社を訪れた際に、市民協働支援センターに参画を希望する団体を検討すること、窓口の連絡先を記載したカードをお渡しするなど、様々な工夫が考えられる。こうした取組について検討を。  
部長 頂いた意見を踏まえ、いろいろな方策があると思うが、検討しながら取組んで参りたい。

### 誰にもやさしい避難所に 公園で花火を可能に



水谷たかこ  
(こがも)

①本市の避難者カードは記入見本やフリガナがなく、日本語を母語としない人や子ども、発災後に混乱した状態の高齢者等にも負担が大きい。他自治体で使われているやさしい日本語や外国語に対応したフォームを使わないか。(イ)誰もが安心して過ごせる避難所運営を目指し、キーマンとなる市民に研修をしないか。  
部長 (ア)避難者カードは極めて重要な情報源であり、改善に努める。(イ)様々な機会に知識を共有することは有効な取組である。  
②(ア)子どもの声を活かした学校運営は進んでいるか。

### RSウイルスワクチンの 早産増加リスク周知求む



藤川賢治  
(見える化)

①妊婦のRSウイルスワクチンが、7千人の臨床試験で、RSウイルスによる新生児・乳児の重症化や入院を減らす一方で、統計的有意差は無いものの早産が169人から202人に増加し、2倍になっている。米国は早産の危険性を周知しており、また最近では幼児のワクチン接種をデンマーク並みの10種11回に減らす動きがある。WHOはHPVワクチンの推奨接種回数を3回から1〜2回に減らした。小金井市でも同様の情報を周知しないか。  
部長 本市では予防接種法に基づき実施するので、

疾患・有害事象	ワクチン群 (約3500人)	プラセボ群 (約3500人)	差
早産	202	169	+33
出生後360日までに入院(RSウイルス原因)	38	57	-19
出生後360日までに医療機関を受診(全原因の下気道疾患)	504	531	-28

出典：  
https://www.fda.gov/media/172126/download  
https://www.nejm.org/doi/suppl/10.1056/NEJMoa2216480/

### ファッションゴミ対策 生活応援事業について



中井れい子  
(公明党)

①衣類について、適正なリユース・リサイクルのための分別・回収を始め、資源循環システムの構築を通じたサステナブルファッションの実現を。(ア)本市の衣料品回収の課題は。(イ)環境省が進める衣類、ファッションの資源循環の認識は。  
部長 (ア)週一回回収の布類は原則リユースとなり、雨天の場合、濡れるとリユースできないため、回収判断に苦慮する。(イ)環境省のサイトに掲載されている情報を確認するまでにとどまっています。今後、国でのガイドライン策定や先進自治体の施策の動向等を注視し

### 日中に活動できる 消防団員確保策の検討を



鈴木成夫  
(みらい)

①日中の災害に出勤できる消防団員の減少傾向を踏まえて、災害支援隊の協力や、機能別消防団創設を検討しないか。  
部長 平日日中の参集人数確保は重要な課題。災害支援隊は、運用状況を検証しながら、必要に応じて活動内容のあり方を研究する。機能別消防団は、先行自治体の状況や課題を注視し、引き続き研究する。  
②大災害発生時に避難所となる小中学校単位で自主防災組織をプロック化し、共通化した避難所開設プログラムを作らないか。  
部長 議員提案の一連の

### どう防ぐ オーバードーズ!!



遠藤百合子  
(自由民主党)

オーバードーズとは、薬の一回あたりの用量を超えて服用することを指し、特に市販薬や処方薬を、症状の改善では無く、感覚や気持ちの変化を目的に大量に摂取するケースが増えている。意図的な過剰摂取は、自殺企図や精神的な逃避行動として行われることもあり、近年オーバードーズが注目されている理由には、10代〜20代の若者に市販薬の過剰摂取が増えていることが挙げられている。特に若い女性で増えており、深刻な社会問題になっている。(ア)現状の認識は。(イ)子どもを含む青少年への

### デジタル化による市民の 利便性・満足度向上を



沖浦あつし  
(みらい)

(ア)重点支援地方交付金の活用で、マイナンバーカードに口座登録する世帯主に現金給付する方法を選択したが、今後個人への給付の可能性は。(イ)公式LINEを活用し、個人への最短即日給付を実現した先進事例を参考に、本市でも、個人への迅速な現金給付の実現性は。(ウ)CoCoバスの高齢者割引につき、介護保険被保険者証提示の不便解消へ、本市は高齢者割引専用パス発行を検討している。一方、都ではシルバーパスのICカード化、国もマイナンバーカードと交通系ICカードの連携による高齢者等の交通割引を推進し、他市で実装事例がある。本市も、交通系ICカードで高齢者等の交通割引を受けられるようにしてはどうか。  
部長 (ア)技術的には可能だが、様々なケースの対応に、給付事務が煩雑で時間がかかる等、課題が大きい。(イ)効果的効果的な給付方法と認識。現在の市公式LINEの実装可能範囲や課題を踏まえ、研究・検討したい。(ウ)導入コストの課題、都や近隣市の動向、どこまで機能を持たせるかという全庁的共通認識の整理が必要。まずは高齢者割引専用パスの導入を目指したい。更なる利便性向上へ、引き続き調査・検討したい。

### 続・AEDの24時間利用 可能な環境整備を!



清水学  
(自民街仲)

AEDがあれば、使用方法を知っていたら、使える人が近くにいれば、救えた命もあったのではないかと悔しい事象も発生している。AEDの必要性は高く、生涯学習課の事例は、屋外設置してあっても鍵がかかっているため、AEDを24時間利用可能な環境が必要と強く感じ、改めて質問をする。浴恩館公園内の小金井市文化センター入口に自立式で外置き型のAEDが設置された。受付内に設置した場合と屋外に設置した場合の費用差は年間約3万3千円というところであった。この3万3千円の差をどのよ



小金井市文化センターに設置された24時間利用可能なAED